

広島県庄原地区における過疎地型MaaS実証実験

(国土交通省 新モビリティサービス推進事業選定(地方郊外・過疎地型))

<実証実験の概要>

過疎先進地である庄原市で、①公共交通空白地での生活・観光交通両立型デマンド交通の運行実験 ②観光地内を回遊するグリーンスローモビリティ (GSM) の運行実験、③旅行行程や観光情報を一元的に提供するWebアプリの導入実験を行う。

○実験期間：2019年10月～2019年11月
(10月：休日観光型、11月：平日地域生活交通型)
※生活交通路線を観光二次交通として休日に活用することをイメージ

○参画する事業者等
庄原商工会議所、庄原市役所、庄原市観光協会
備北交通(株)、(協)庄原ショッピングセンター
庄原赤十字病院、呉高专(神田研究室)
(株)ヴァル研究所、(株)トラフィックブレイン
(株)NTTドコモ中国支社、広島県(地域力創造課)

○MaaSアプリの構築・提供

<対象交通手段>
バス、AIオンデマンド交通、
グリーンスローモビリティ (GSM)

<提供するサービス>
経路検索、予約、電子チケット

○特記事項

- ・既存の路線バスとデマンドバスの定額乗り放題
- ・デマンドバスやGSMを経路検索アプリへ掲載
- ・日英2カ国語対応

<展開エリアのイメージ>



観光型MaaS

- ・市街地中心部から帝釈峡までの二次交通アクセスとしてデマンド交通の導入 (広島市内からの高速バスと接続)
- ・帝釈峡内の散策路を回遊するGSMの導入 (往復約4km)
- ・旅行行程や観光地情報を一元的に提供するWebアプリを導入



地域生活交通型MaaS

- ・市街地中心部と郊外部 (本村・峰田地区) を結ぶAIデマンドバスを導入
- ・既存の路線バスが運行しない時間帯に運行 (2往復/日)
- ・AIを活用した予約管理
- ・AIデマンドバス+中心部の路線バスを定額乗り放題

